

**2013年12月期 第1四半期
決算概況**

**取締役 常務執行役員
立花 和義**
協和発酵キリン株式会社

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画などの将来に関する記述が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報、予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

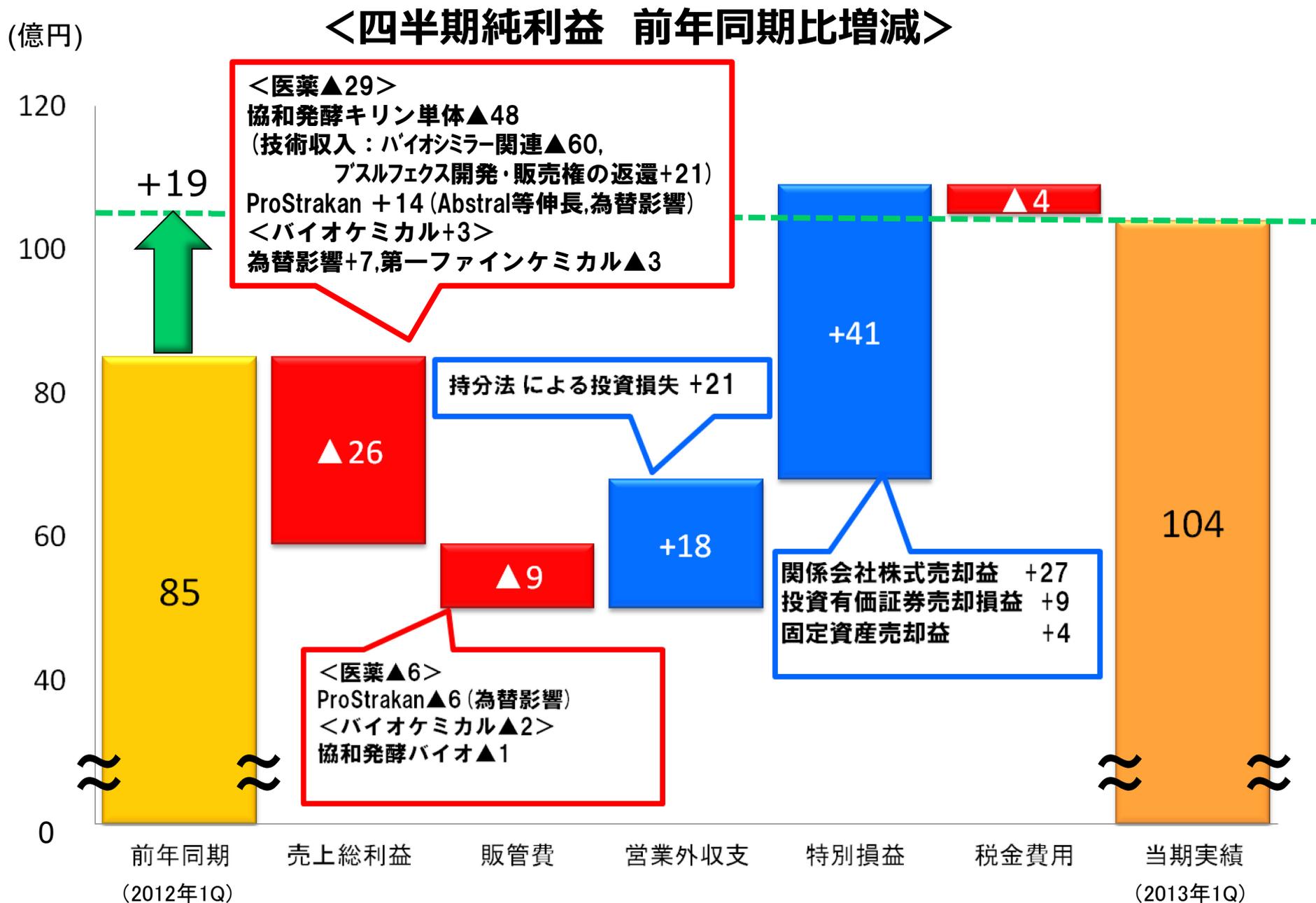
本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

- 1. 連結決算概況**
 - 2. 医薬事業**
 - 3. バイオケミカル事業**
 - 4. 開発パイプライン**
-

連結

1Q決算概況 ～前年同期比損益分析～

1Q連結決算概況 前年同期比損益分析



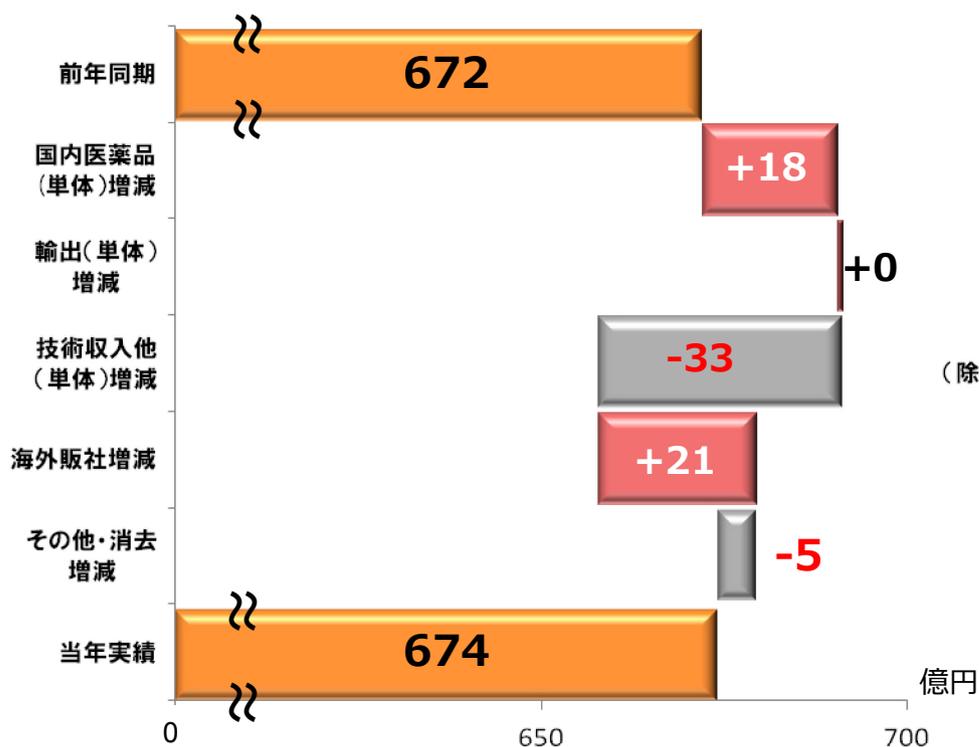
医薬事業決算概況

1Q決算概況 ～前年同期比損益分析～

医薬事業：1Q決算概況 前年同期比損益分析

KYOWA KIRIN

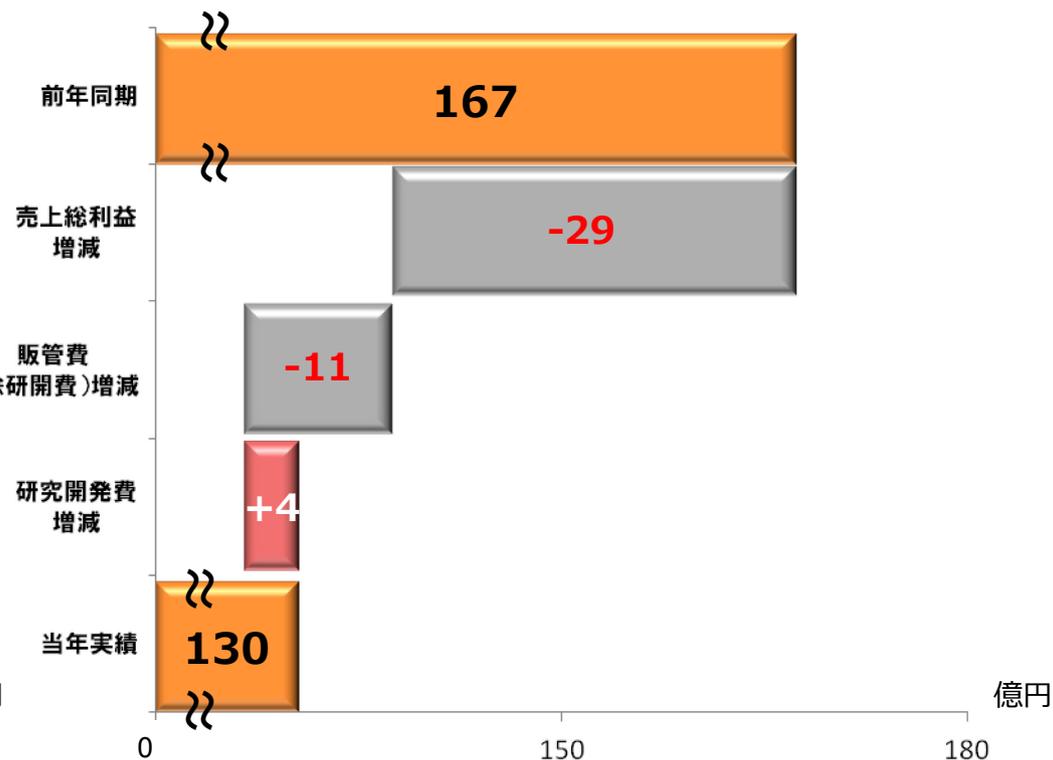
〔連結売上高〕



<売上高>

- 国内医薬品 (+18億円) :
 - ・品目 (荷送) : PTN+39, ALK+8, REG+2, NSP▲31, CONL▲6, GRN▲3
 - ・ネスブ (NSP) : 前年未発売の液量統一品の出荷反動、薬価基準引下げ影響などを受け減収。一方でシェアには変動なし
- 輸出 (+0億円) : 為替影響_約+3億円
- 技術収入など (▲33億円) : 為替影響_約+4億円
 - ・バイオシミュレーション関連 (▲60) , プスルフェクス開発・販売権の返還 (+21) など
- 海外販社 (+21億円) : 為替影響_約+11億円
 - ・ProStrakan +14 (為替+6) , 残りはアジア販社

〔連結営業利益〕



<営業利益>

- 売上総利益 (▲29億円) :
 - ・薬価基準引下げの影響を、数量増とProStrakan(以下PSK)の伸長によりカバーしたものの、バイオシミュレーション関連の技術収入減などの影響が大きく減益
- 販管費 (▲11億円) :
 - ・PSKの為替影響が主要因。その他、販売権等償却増など
- 研開発費 (+4億円)

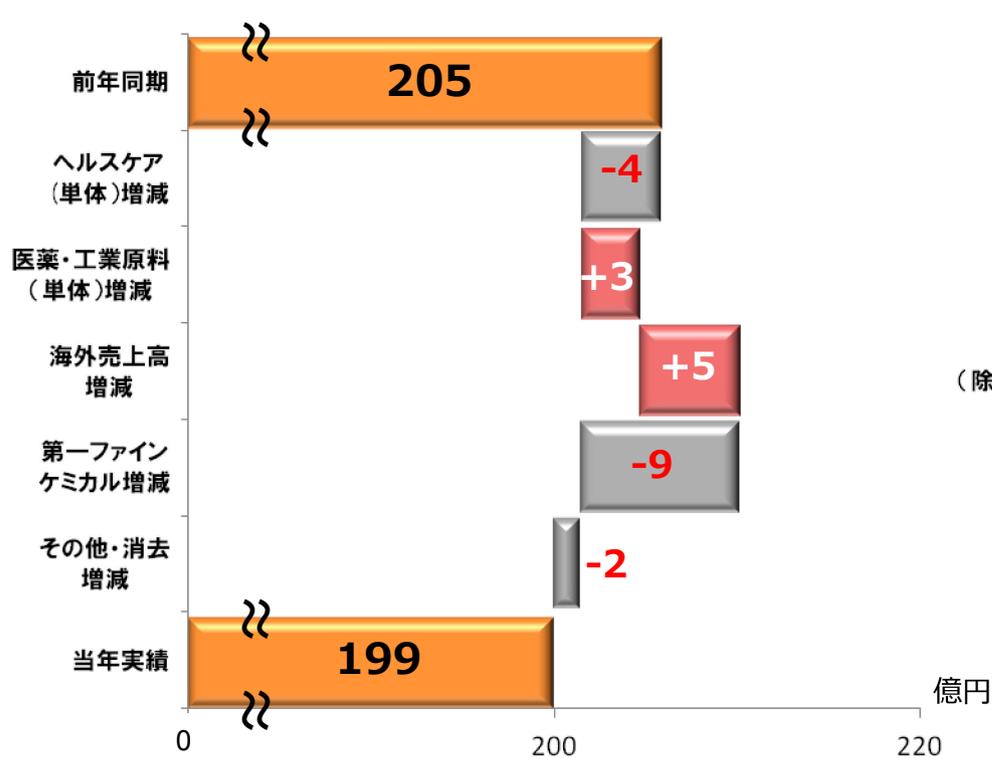
医薬品売上高は、前年同期比では薬価基準引下げ等の影響がある
ESA製剤等の主力製品を中心に計画比では順調に推移している

単位：億円	2012年 1Q 実績 (a)	2013年 1Q実績 (b)	(b) - (a) 差分	増減要因
ネスブ	138	106	▲31	薬価改定等の影響を受けマイナス ESA市場におけるシェアに大きな変動 はない
レグパラ	28	30	2	順調に市場浸透しておりプラス
アレロック	99	107	8	2013年は大量花粉飛散年となり プラス
パタノール	54	94	39	2013年は大量花粉飛散年であり、 特に眼症状を発症する患者さんが多 く大幅なプラス
グラン	29	25	▲3	高シェアは維持しているが、G-CSF製 剤の市場の低迷によりマイナス

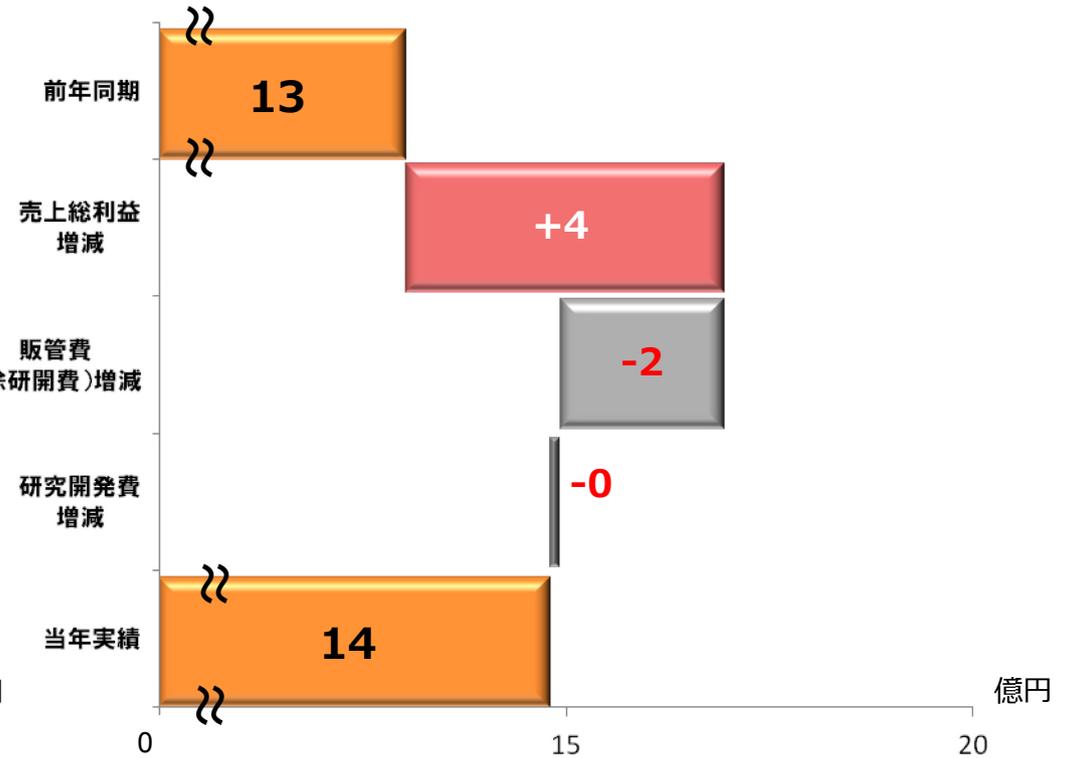
**バイオケミカル事業
1Q決算概況 ～前年同期比損益分析～**

バイオケミカル事業：1Q決算概況 前年同期比損益分析 **KYOWA KIRIN**

〔連結売上高〕



〔連結営業利益〕



<売上高>

- ヘルスケア (▲4億円) : 通信販売は前同並み,原料・OEMは飲料用アミノ酸の販売低調など
- 医薬・工業用原料 (+3億円) : ジェネリック医薬品の原薬製造の堅調など
- 海外売上高 (+5億円) : 為替影響_約+11億円
 - ・米国: 為替影響 (+2),その他は、一部サプリメント用原料の低調など (▲3)
 - ・欧州: 為替影響 (+5)
 - ・アジア・その他: 為替影響 (+4),その他は、一部医薬品原薬の低調など (▲2)
- 第一ファインケミカル (▲9億円) : トラネキサム酸は前年同期の集中出荷による影響 (▲5),
その他は事業構造改革推進による不採算品目の整理など (▲4)

<営業利益>

- 売上総利益 (+4億円) : 為替影響_約+6億円
- 販管費 (▲2億円) : 前同並み

開発パイプライン

パーキンソン病治療薬“ノウリアスト(KW-6002)” 国内製造販売承認

- ・作用機序は、アデノシンA_{2A}受容体遮断薬
- ・1ST IN CLASS の薬剤
- ・国内パーキンソン病治療薬の市場規模は、薬価ベースで700億円
- ・5月薬価収載を見込む

導入予定の糖尿病治療剤“オングリザ”国内製造販売承認(大塚製薬)

- ・作用機序は、DPP-4阻害薬
- ・ガイドライン*に従い臨床試験を実施し承認された糖尿病薬
- ・国内DPP-4阻害剤の市場規模は、薬価ベースで2000億円
- ・5月薬価収載を見込む

*「経口血糖降下薬の臨床評価方法に関するガイドライン」平成22年7月9日付薬食審査発0709第1号

KHK4563 (benralizumab)

- ・IL-5受容体抗体
- ・MedImmune社が、気管支喘息を対象にP2bを実施中
- ・当社では、日本/韓国にて気管支喘息を対象にP2aを実施中

KRN951 (tivozanib)

- ・選択性の高いVEGF阻害剤
- ・AVEO/アステラス社が、腎細胞癌を適応にFDAに申請中
- ・当社では、国内でP1を実施中

FKB327

- ・ヒュミラ（アダリムマブ）バイオシミラー
- ・2013年上期の臨床試験入りを目指し、最終の準備段階

APPENDIX

為替レート（期中平均）

	2012年1-3月	2013年1-3月	前年同期比
米ドル	¥79	¥89	+¥10
ユーロ	¥104	¥118	+¥14
英ポンド	¥125	¥141	+¥16

為替影響

	2013年1-3月期・影響額（前年同期比）		
	医 薬	バイオケミカル	連 結 計
売 上 高	+17億円	+10億円	+28億円
営 業 利 益	+5億円	+6億円	+11億円

導出品の開発進捗状況

KYOWA KIRIN

Name	Partner	Phase			Application	Remarks
		I	II	III		
Tivozanib	AVEO				FDA (2012年9月)	悪性腫瘍 (VEGF receptor inhibitor) (KRN951)
KW-2871	Life Science					悪性腫瘍 (Anti-GD3 antibody) Low-fucose antibody
MEDI-563	MedImmune					喘息 (Anti-IL-5R antibody) KHK4563:POTELLIGENT®
KRN5500	DARA					神経因性疼痛
LY2523355	Eli Lilly					悪性腫瘍 (Mitotic kinesin Eg5 inhibitor)
RGI2001	REGiMMUNE	Phase1/2				免疫抑制
SAR252067	Sanofi					炎症性腸疾患 (anti-LIGHT antibody)

(2013年4月17日現在)

KYOWA KIRIN

本資料のお問合せ先

協和発酵キリン株式会社

コーポレートコミュニケーション部 03-3282-0009